

加曽利貝塚を学ぼう！

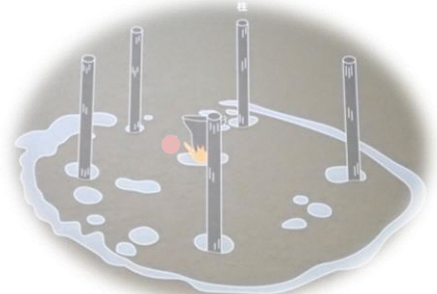
加曽利貝塚縄文遺跡公園内を散策してみよう

◆北貝塚 竪穴住居跡群観覧施設

発掘調査当時の様子を保存科学の技術を用いて1968年(昭和43年)から公開しています。貝層の下からは、重なるように多くの住居跡や土坑(貯蔵用の穴)などがみつかっています。



やや白っぽくなっている部分のことです。
※ガラスにあるの解説で確認！



建物の中では、調理をしたり、暖をとったり、明りとして利用する_____があります。

加曽利貝塚では、
約_____体の人骨が
みつかっています。
右の人骨の性別は？_____性
推定年齢は、およそ_____代



◆北貝塚 貝層断面観覧施設

発掘調査当時の貝層を保存科学の技術を用いて1968年(昭和43年)から公開しています。この貝層は、すべて本物です。2mを超える貝が積みかさなっています。



ここでは、ハマグリの大きさに
注目してみましよう。
南貝塚の貝層断面観覧施設の貝の
大きさと比べてみてください。
さて、どちらが大きいでしょう？
北貝塚？ 南貝塚？

◆南貝塚 貝層断面観覧施設

発掘調査当時の貝層をはぎとって展示しています。1991年(平成3年)から公開しています。貝だけでなく、土器や石器、動物の骨や魚の骨など縄文人の残したものがたくさん含まれています。



ここでは、ハマグリの大きさに注目してみましょう。北貝塚の貝層断面観覧施設の貝の大きさと比べてみてください。さて、どちらが大きいでしょう？
北貝塚？ 南貝塚？

※大きさの違いが気になった人は、学芸員さんに確認！

約15種類の貝の名札があるので、その内の5つをみつけてみよう。

① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____ ⑤ _____

貝以外のものもたくさんあるので、3つみつけてみよう。

① _____ ② _____ ③ _____

◆南貝塚 復元住居

過去の発掘調査で見つかった竪穴住居跡の真上につくられた復元住居です。

発掘調査時には、縄文時代の木材はすでにくさってなくなっているのに、北貝塚の竪穴住居跡群観覧施設のような状態でみつかります。



左の写真は、北貝塚の住居跡観覧施設の項で問題とした

「建物の中では、調理をしたり、暖をとったり、明りとして利用する_____があります。」の空欄にあてはまるものです。

疑問質問は、学芸員さんに聞いてみよう！